

損 益 計 算 書

(平成16年3月1日から
平成17年2月28日まで)

(単位：千円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|--------------|-----------|-----------|
| (経常損益の部) | | |
| 営業損益の部 | | |
| 営業収益 | | 8,399,098 |
| 売上高 | 8,399,098 | |
| 営業費用 | | 7,986,063 |
| 売上原価 | 4,274,872 | |
| 販売費及び一般管理費 | 3,711,191 | |
| 営業利益 | | 413,034 |
| 営業外損益の部 | | |
| 営業外収益 | | 85,660 |
| 受取利息及び配当金 | 2,829 | |
| その他営業外収益 | 82,830 | |
| 営業外費用 | | 15,701 |
| 支払利息 | 14,745 | |
| その他営業外費用 | 956 | |
| 経常利益 | | 482,993 |
| (特別損益の部) | | |
| 特別利益 | | 103 |
| 貸倒引当金戻入益 | 103 | |
| 特別損失 | | 203,376 |
| 固定資産除却損 | 28,315 | |
| 子会社株式評価損 | 132,958 | |
| リース資産解約損 | 28,602 | |
| 退店違約金 | 13,500 | |
| 税引前当期純利益 | | 279,721 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 193,000 |
| 法人税等調整額 | | 59,391 |
| 当期純利益 | | 146,112 |
| 前期繰越利益 | | 1,645,496 |
| 当期末処分利益 | | 1,791,609 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

継続企業の前提

該当事項はありません。

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
子会社株式……移動平均法による原価法
2. たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品・貯蔵品……移動平均法による原価法
3. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産……定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備は除く）については、定額法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。
 - (2) 無形固定資産……ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
 - (3) 長期前払費用……均等償却しております。なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。
4. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
 - (2) 賞与引当金
従業員の賞与支給に充てるため、将来の支給見込額のうち、当期に負担すべき金額を計上しております。
 - (3) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。
5. リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

金利スワップについては、特例処理の要件を充たしているため、特例処理によっております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段：金利スワップ取引

ヘッジ対象：変動金利借入

(3) ヘッジ方針

将来の金利変動リスクを回避する目的でヘッジしております。

(4) ヘッジ有効性評価の方法

特例処理によっている金利スワップのため、有効性の評価は省略しております。

7. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

貸借対照表注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

160,633千円

2. 貸借対照表に計上された固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産としてコンピューター等の事務機器及び店舗設備があります。

3. 所有権が留保された固定資産

有形固定資産「什器・備品」に所有権が留保されたものが含まれております。その未払額は以下のとおりであります。

什器・備品 79,276千円

4. 担保に供している資産

建物 8,227千円
土地 960,384千円

5. 保証債務残高

445,373千円

6. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額

664千円

損益計算書注記

1. 子会社との取引高

売上高 11,095千円

2. 1株当たり当期純利益

21円02銭